

○鹿児島市消防局広告付提供物の受領に関する要領

平成30年3月1日

改正 令和4年3月30日

(趣旨)

第1条 この要領は、鹿児島市広告掲載等指針（平成18年9月1日制定。以下「指針」という。）、鹿児島市広告掲載等基準（平成18年9月1日制定。以下「基準」という。）に定めるもののほか、広告付提供物（以下「提供物」という。）の受領について、必要な事項を定めるものとする。

(広告の内容の範囲)

第2条 広告の内容、表示等に関する基準は、別表のとおりとする。

(提供物受領の優先順位)

第3条 受領する提供物の順位は、先着順とする。

2 同時に複数の申込みがあった場合は、市長が認める方法により決定するものとする。

(提供者の募集及び申込み)

第4条 提供物を提供する者（以下「提供者」という。）の募集は、鹿児島市公告式条例（昭和42年条例第2号）に基づく告示等により募集するものとする。

2 提供者は、鹿児島市提供物申出書（様式第1）により市長に申し込むものとする。

(提供物受領の決定)

第5条 市長は、鹿児島市提供物申出書の提出を受けたときは、提供物の内容を審査し、速やかに受領の可否を決定するものとする。

2 市長は、受領の可否を決定したときは、鹿児島市提供物受理決定通知書（様式第2）又は鹿児島市提供物不受理決定通知書（様式第3）により提供者に通知するものとする。

3 市長は、デザイン素材、ラフ・スケッチその他受領の可否を判断するため必要な資料の提出を求めるものとする。

4 市長は、第1項の受領の決定をした後の事情変更等により、提供物の内容、デザイン等が指針及び基準に抵触し、又はそのおそれがあると認めるときは、提供者に対し提供物の内容等の変更を求めることができる。

(提供物の製作及び提供)

第6条 提供物は、提供者の負担によって製作し、提供するものとする。

2 提供者は、提供物の提供を行おうとするときは、業務に支障が生じないよう市長と協議の上、行うものとする。

(提供物の使用中止)

第7条 市長は、業務上の支障その他特に必要があると認めるときは、提供物の使用を中止することができる。この場合において、市長は、費用の負担その他の補償は行わないものとする。

(受領決定の取消し)

第8条 指針第9条に規定する特に必要があると認めるときは、次に掲げるとおりとする。

(1) 提供者が書面により提供の辞退を申し出たとき。

(2) その他市長が提供物の受領に特に支障があると認めるとき。

2 提供者は、指針第9条の規定により契約が解除された場合、当該契約に係る提供を既に行

っているときは、速やかに提供物を回収しなければならない。

(委任)

第9条 この要領に定めるもののほか、必要な事項は別に定める。

付 則

この要領は、平成30年3月1日から施行する。

付 則

この要領は、令和4年4月1日から施行する。

別表（第2条関係）

具体的な表示内容等については、掲載の都度、次の各項目について検討し判断することとする。

1	人材募集広告
(1)	人材募集に見せかけて、違法行為の勧誘やあつ旋の疑いのあるものは掲載できない。
(2)	人材募集に見せかけて、商品・材料及び機材の売りつけや資金集めを目的としているものは掲載できない。
2	語学教室等
(1)	安易さや授業料・受講料の安さを強調する表現は使用できない。 例：「1か月で確実にマスターできる」等
3	学習塾・予備校等（専門学校を含む）
(1)	合格率など実績を載せる場合は、実績年もあわせて表示し根拠を明確にする。
4	外国の大学の日本校
(1)	下記の主旨を明確に表示すること。 「この大学は、日本の学校教育法に定める大学ではありません。」
5	資格講座
(1)	民間の講習業者が「労務管理士」などの名称で資格講座を設けたものについては、それがあたかも国家資格であり、各企業は労務管理士を置かなければならないという誤解を招くような表現は使用できない。下記の主旨を明確に表示すること。 「この資格は国家資格ではありません。」
(2)	「行政書士講座」などの講座には、その講座だけで国家資格が取れるというような紛らわしい表現は使用できない。下記の主旨を明確に表示すること。 「資格取得には、別に国家試験を受ける必要があります。」
(3)	資格講座の募集に見せかけて、商品及び材料の売りつけや資金集めを目的としているものは掲載できない。
(4)	受講費用がすべて公的給付でまかなえるかのように誤認される表示はできない。
6	病院、診療所、助産所
(1)	医療法第6条の5及び第6条の7に規定する事項以外は、掲載できない。
(2)	提供する医療の内容が他の医療機関等と比較して優良である旨の広告は掲載できない。
(3)	提供する医療の内容に関して虚偽又は誇大な広告は掲載できない。
(4)	治療方法について、疾病等が完全に治癒される旨等その効果を推測的に述べる広告は掲載できない。
(5)	厚生労働省の「医業若しくは歯科医業又は病院若しくは診療所に関して広告し得る事項等及び広告適正化のための指導等に関する指針（医療広告ガイドライン）について」に沿った広告内容であること。
(6)	マークを用いることはできるが、そのマークが示す内容を文字等により併せて表記しなければならない。赤十字のマークや名称は自由に用いることができない。
(7)	不明な点は、事業所所在地を所管する地方公共団体の医務薬務担当課に確認すること。
7	施術所（あん摩マッサージ指圧・はり・きゅう・柔道整復）

- (1) あん摩マッサージ指圧師、はり師、きゅう師等に関する法律第7条又は柔道整復師法第24条に規定する事項以外は、掲載できない。
- (2) 施術者の技能、施術方法又は経歴に関する事項は掲載できない。
- (3) 法定の施術所以外の医療類似行為を行う施設（整体院、カイロプラクティック、エステティック等）の広告は掲載できないため、業務内容の確認は必ず行う。
- (4) 不明な点は、事業所所在地を所管する地方公共団体の医務薬務担当課に確認すること。

8 薬局、薬店、医薬品、医薬部外品、化粧品、医療機器

- (1) 医薬品、医薬部外品、化粧品、医療機器の効能・効果に関する表現については、「医薬品等適正広告基準」に定められた範囲でしか掲載できない。
- (2) 安全性の強調や副作用の否定、医療関係者等の推薦、不快感・恐怖感を与える表現は、使用できない。
- (3) 医薬品、医療機器等の品質、有効性及び安全性の確保等に関する法律第66条各号に規定する表示に該当すると認められる広告は掲載できない。
- (4) 医療機器については、厚生労働省の認可を確認し、承認番号を明記する。
- (5) 不明な点は、事業所所在地を所管する地方公共団体の医務薬務担当課に確認すること。

9 健康食品、保健機能食品、特別用途食品

- (1) 健康食品については、効能・効果に関する表示は掲載できない。
- (2) 保健機能食品、特別用途食品については、厚生労働大臣から許可された範囲で効能・効果に関する表示を掲載する。
- (3) 不明な点は、事業所所在地を所管する地方公共団体の医務薬務担当課に確認すること。

10 介護保険法に規定するサービス・その他高齢者福祉サービス等

- (1) サービス全般（老人保健施設を除く）
 - ① 介護保険の保険給付対象となるサービスとそれ以外のサービスを明確に区別し、誤解を招くような表現は使用できない。
 - ② 広告掲載主体に関する表示は、法人名、代表者名、所在地、連絡先、担当者名等に限る。
 - (2) 有料老人ホーム
 - ① 前記(1)に規定するもののほか、厚生労働省「有料老人ホーム設置運営標準指導指針」に規定する事項を遵守し、同指針別表「有料老人ホームの類型及び表示事項」の各類型の表示事項はすべて表示すること。
 - ② 所管都道府県の指導に基づいたものであること。
 - ③ 公正取引委員会の「有料老人ホームに関する不当な表示(平成16年公正取引委員会告示第3号)」に規定する表示は掲載できない。
 - (3) 有料老人ホーム等の紹介業
広告掲載主体に関する表示は、法人名、代表者名、所在地、連絡先、担当者名等に限る。
- ※ 不明な点は、事業所所在地を所管する当該サービス及び施設担当課に確認すること。

11 不動産事業

- (1) 名称、所在地、電話番号、認可免許証番号等を明記する。
- (2) 不動産売買や賃貸の広告の場合は、取引様態、物件所在地、面積、建築年月日、価格、賃料、取引条件の有効期限を明記する。

(3) 「不動産の表示に関する公正競争規約」による表示規制を遵守する。

(4) 契約を急がせる表示は掲載できない。

例：「早い者勝ち」、「残り戸数あとわずか」等

1 2 弁護士・税理士・公認会計士等

(1) 掲載内容は、名称、所在地及び一般的な事業案内等に限定する。

1 3 旅行業

(1) 登録番号、所在地、補償の内容を明記する。

(2) 不当表示の疑いがある表示は掲載できない。

例：白夜でない時期の白夜旅行、行程にない場所の写真等

1 4 通信販売業

(1) 返品等に関する規定を明記する。

1 5 雑誌・週刊誌等

(1) 適正な品位を保った広告であること。

(2) 犯罪被害者（特に性犯罪や殺人事件の被害者）の人権・プライバシーを不当に侵害するような表現がないものであること。

(3) タレントなど有名人の個人的行動に関しても、プライバシーを尊重し節度を持った配慮のある表現であること。

(4) 犯罪事実の報道の見出しについて、残虐な言葉や扇情的な言い回しを避け、不快の念を与えないものであること。

(5) 20歳未満の者（少年法第68条において、同法第61条の規定を適用しないとする者以外の者）、心神喪失者などの犯罪に関連した広告では、氏名等及び写真は原則として表示できない。

1 6 映画・興業等

(1) 暴力、とばく、麻薬及び売春などの違法行為を容認するような内容のものは、掲載できない。

(2) 性に関する表現で、扇情的、露骨及びわいせつなものは掲載できない。

(3) いたずらに好奇心に訴えるものは掲載できない。

(4) 内容を極端にゆがめたり、一部分のみを誇張した表現等は使用できない。

(5) 衝撃的なデザインは使用できない。

(6) その他青少年に悪影響を与えるおそれのあるものは掲載できない。

(7) 年齢制限等、規制を受けるものはその内容を表示する。

1 7 占い・運勢判断

(1) 掲載内容は、名称、所在地及び一般的な事業案内等に限定する。

(2) 占いや運勢判断に関する出版物は、その都度判断する。

(3) 料金や販売について明記する。

1 8 結婚相談所・交際紹介業

(1) 結婚情報サービス協議会に加盟していること（加盟証明が必要）を明記する。

(2) 掲載内容は、名称、所在地及び一般的な事業案内等に限定する。

1 9 調査会社・探偵事務所等

- (1) 掲載内容は、名称、所在地及び一般的な事業案内等に限定する。

2 0 労働組合等一定の社会的立場と主張を持った組織

- (1) 掲載内容は、名称、所在地及び一般的な事業案内等に限定する。
(2) 主張の展開及び他の団体に対して言及（批判、中傷等）する出版物の広告は、掲載できない。

2 1 募金等

- (1) 厚生労働大臣又は都道府県知事の許可を受けていること。
(2) 下記の主旨を明確に表示すること。
「〇〇募金は、〇〇の許可を受けた募金活動です。」

2 2 質屋・チケット等再販売業

- (1) 個々の相場、金額等の表示は掲載できない。
例：「〇〇〇のバッグ5万円」、「航空券〇〇～〇〇間2万円」等
(2) 有利さを誤認させるような表示は掲載できない。

2 3 トランクルーム及び貸し収納業者

- (1) 「トランクルーム」は国土交通省の規制に基づく適正業者（マル適マーク付き）であることが必要。
(2) 「貸し収納業者」は会社名以外に「トランクルーム」の名称は使用できない。また、下記の主旨を明確に表示すること。
「当社の〇〇は、倉庫業法に基づくトランクルームではありません。」

2 4 ダイヤルサービス

- (1) ダイヤルQ2ほか各種のダイヤルサービスは内容を確認のうえ判断する。

2 5 その他、表示について注意を要すること

- (1) 割引価格の表示
割引価格を表示する場合、対象となる元の価格の根拠を明確に表示すること。
例：「メーカー希望小売価格の30%引き」等
- (2) 比較広告（根拠となる資料が必要）
主張する内容が客観的に実証されていること。
- (3) 無料で参加・体験できるもの
一部費用負担がある場合には、その旨明確に表示すること。
例：「昼食代は実費負担です」、「入会金が別途必要です」等
- (4) 宝石の販売
虚偽の表現に注意すること。（公正取引委員会に確認の必要あり）
例：「メーカー希望価格の50%引き」（宝石には通常、メーカー希望価格はない）等
- (5) 個人輸入代行業等の個人営業広告
資格取得状況や事務所の所在地、電話番号を明記すること。
- (6) アルコール飲料
- ① 20歳未満の者の飲酒禁止の文言を明確に表示すること。
例：「お酒は20歳を過ぎてから」等
- ② 飲酒を誘発するような表現は掲載しないこと。
例：酒を飲んでいる又は飲もうとしている姿等

鹿児島市提供物申出書

鹿児島市長 殿

鹿児島市へ広告付提供物の寄贈を以下のとおり申し込みます。

提 供 者	所在地		〒
	ふりがな 名称		
	ふりがな 代表者職氏名		
	ふりがな 担当者氏名		
	連絡先	TEL	
		FAX	
Eメール			
提供物品			
広告内容			
提供数量			
提供期間			
提供物費用		円	
添付書類等		1 広告の原稿 (図案等) 2 市税及び使用料など本市に対する債務の完納を証明する書類 (市税納税証明書等)	
備考			

様式第2（第5条関係）

年 月 日

鹿児島市提供物受理決定通知書

様

鹿児島市長

年 月 日付で申込みのあった鹿児島市への広告付提供物について、
次のとおり受領することに決定しましたので、通知します。

受領物品	
受領数量	
使用期間	
備考	

年 月 日

鹿児島市提供物不受理決定通知書

様

鹿児島市長

年 月 日付で申込みのあった鹿児島市への広告付提供物について、
下記の理由により受理できないことを決定しましたので通知します。

不受理の理由	
--------	--